

R.I.第2540地区 横手東ロータリー・クラブ 週報

【会長報告】会 長 細谷 昇

- 第 2540 地区ガバナー事務所より「RLI ラーニングセミナー開催」のご案内が届いております。
- 国際ロータリー日本青少年交換より「ウクライナ戦争孤児支援食堂プロジェクトのご協力について」が届いております。 回覧致します。

【幹事報告】幹 事 奥山 幸司

- 国際ロータリーより「人頭分担金とロータリー財団への寄付について」が届いております。 回覧致します。

【出席報告】浅倉 和也会員

第 2540 地区 ガバナー 桑山明久様 南区 ガバナー補佐 柴田為英様
 本人出席 9名 事前メイク 2名 出席率 84.6%

【ニコニコ報告】浅倉 和也会員

- 第 2540 地区桑山ガバナー、南区柴田ガバナー補佐より沢山頂きました。
- 桑山ガバナー、柴田ガバナー補佐、本日は宜しくお願ひ致します。 細谷昇会長②
- 桑山ガバナー、柴田ガバナー補佐、本日は有難うございます。 奥山幸司幹事①
- 第 2540 地区ガバナー桑山明久様、南区ガバナー補佐 柴田為英様を歓迎します。また、ご指導よろしくお願ひ致します。多賀糸敏雄会員のご活躍が「NOSAI（秋田県農業共済組合広報誌）に掲載されておりましたので、レターボックスに入れておられます。ご覧ください。 高橋富男会員①
- ガバナー桑山明久様、南区ガバナー補佐柴田為英様を歓迎します。本日はご指導をお願ひ致します。 和賀豪会員①
- 桑山ガバナー、柴田ガバナー補佐、本日は有難うございます。よろしくお願ひ致します。 中川義徳会員①
- 桑山ガバナー、柴田ガバナー補佐、本日はありがとうございます。 山田春一会員①
- 桑山ガバナー、柴田ガバナー補佐を歓迎致します。本日はよろしくお願ひ致します。 浅倉和也会員①

【ガバナー講話】 第 2540 地区 ガバナー 桑山 明久様



- 皆さん、こんにちは。歓迎を頂きまして有難うございます。7月1日からガバナーに就任致しまして公式訪問、今日で3カ所目で第一回は田沢湖 RC、角館 RC の夜例会に招かれて行ってまいりました。今週は火曜日に横手南 RC、そして今日が横手東 RC で3カ所目です。3カ所目となれば、慣れたでしょうと誰も言ってくれないですがなかなか慣れないです。この後、来週は秋田市内を回ります。どっかから風邪をもらいまして咳もだいぶおさまってきたのですが、まだ時々せき込んでしまいますのでお聞き苦しい時がありますがどうかご容赦お願い致します。先ず初めに、多賀糸さんロータリークラブに入会有難うございます。以前私が入って頃28年前になりますが、「ロータリー入会おめでとうございます！」と言われたのですが、私も心から「おめでとうございます！」とお祝い申し上げたいのですが、ロータリークラブは会員減少で今会員増強に転じておりまして仲間が増えることは大変嬉しく思っております。昔はロータリーには入りたいが、なかなか声が掛からずどうやったらロータリーに入れてもらえるだろうか言われていたのですが、最近は声を掛けてもなかなかロータリーに入っていないので「ロータリー入会おめでとうございます！」というのが恥ずかしいような気がして「入会有難うございます。」という言葉で最大限の歓迎を申し上げたいと思います。どこか旅行された先で例会が開催されているロータリークラブにメイクアップすると他のクラブの雰囲気はわかりとても参考になると思います。一つ思い出深いのが東京帝国ホテルで東京中央ロータリークラブの例会にメイクした時に3名の入会がありましてその時のおひとりが「入会できて本当に嬉しいです。」というご挨拶があり、会の皆さんから「入会おめでとうございます！」というシーンを思い出します。

それではここから話題を変えていきます。

先ほど、会長・幹事さんと面談を行いました。「横手東 RC さんの強みは何ですか」と質問を致しました。そうしましたら、「一つのアットホームな輪になったクラブである。しかしそれは会員数が少ないという弱みでもあるということに繋がる場所でもあるが、それは最大の強みでもある。」というお話を伺いましてそうだなという感を強くいたしました。私がガバナーになる前、ブリと一緒にガバナーノミニージェグネーで一年後にはガバナーノミニー、その一年後にはガバナーエレクトとなりその一年後にガバナーとなります。ブリさんはブリになる前はハマチでその前がイナダでその前がワカシです。ガバナーも年ごとに名前を変え最後はブリかな、そうして今ブリになった私がいるかなと思います。ガバナーエレクトの時にお声の掛かった周年記念、IM 等には出席させていただきました。私の由利本荘分区も5クラブあるうち10名以下のクラブが3つあります。2540 地区でも10名以下のクラブが7クラブあります。この7つのクラブに地区としてガバナーとしてどのような支援が出来るだろうか、そのクラブの存続にどのような力を貸すことが出来るだろうかと考えながらいたのですが、その後気が付いたのが少人数でありながら長年ロータリークラブとしての活動を続けているという事はとっても大きな財産ではないだろうか、一人で何役もやりながら、何回でも会長をやりながら、何度でも幹事をやりながらロータリーを続けてくれているという事はこれは大変素晴らしい見習うべき事に気が付きました。今日の一つの目的はクラブを続けている意義を知りたいという思いで面談を行いました。なんといい

でも皆さんがロータリーを楽しんでいてくれるという事を改めて確認致しました。ロータリーの最大の価値観、所以は「親睦と友情」である。ここにロータリーの原点がある。ポールハリスさんがシカゴでロータリーを創設しました。ポールハリスさんが日本を訪問した時にある方が「なぜロータリーを創設したのですか？」と質問をした時、「寂しかったから」と答えたそうです。奉仕活動をしようとか何かいいことをしようとかとロータリークラブを創ったのではなくポールハリスさんは心を許して語り合える友達が欲しかったというのがロータリークラブを作った一番の理由である。ですから、ロータリークラブが何が大事かというたとえ少人数でも続けてやっているのはそこが「ほっと出来る場所である」、会員の仲間を見ると「ああよかったなあ」という思いで例会の時間を過ごせる、その原点であるロータリークラブの所以が少人数のクラブにあるのではないかと考えております。これをクラブ訪問の時に確かめたいと思っております。人数が増えてもみんなが一つの輪である、みんなが友達で、みんなが仲良くロータリーを楽しんで行くことを強く感じたところです。会長さん、幹事さんにもこのまま続けていただけたらと申し上げたいと思います。国際ロータリーはここ10年くらいでずいぶん変わったという話を聞きます。それは次々を新しい方針を出しているといったことであって計画的な価値観、親睦と友情、職業奉仕は続けていきたいと思っております。変わったのは出席をあまり強調しなくなった。一業種1人という原則も5人と変わってきております。やみくもにお誘いするのではなくこの方だったらロータリーに相応しい方に入会していただくという事です。それで先ほど多賀糸さんに「おめでとうございます！」と申し上げたのはロータリアンとして相応しいと認められた事でお祝いを申し上げたいと思います。これから大いにロータリーを楽しみながら、何か自分に出来ることがあるのかという事で交流を深めてその中から見つけ出していただければそれで十分だと思います。ガバナーは代々地区テーマを置いておりましたが、今はテーマはおいてはならないという事です。私の「ロータリーを学ぼう」というのはメッセージとして使うことは構わないという事でした。ロータリーのセミナーを通じてより深くロータリーを知っていただきたいと思っております。先ずはどなたでも参加できるRLI研修に出てみて下さい。

この度、RI会長の突然の辞任で今年度RI会長フランチェスコ・アレツォ氏のメッセージはまだ届いておりませんが、2025-2026年度会長メッセージ「よいことのために手を取り合おう」は変わりません。友情の手を取り合って進んでいきたいと思っております。今日はガバナーの公式訪問ということでお迎えいただいて本当にありがとうございます。先ほどは皆さんの歓迎の心が大変よく伝わる例会の日であったことを感謝申し上げます。私からの挨拶といたします。今日は本当に有難うございました。